

矛盾「韓非子」より

◆ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

楚人に盾と矛とを鬻ぐ者有り。之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり。」又、其の矛を誉めて曰はく、「吾が矛の利きこと、物に於いて陷さざる無きなり。」と。或ひと曰はく、「子の矛を以つて、子の盾を陷さば、何如」と。其の人応ふるに能はざるなり。

〔現代語訳〕 楚の国の人に盾と矛とを売る者がいた。その盾を自慢して言うには、「私の盾の堅いこと（といったら）、突き通せるものはないのだ。」と。更に、その矛を自慢して言うには、「私の矛の鋭いものはないのだ。」と。（すると）ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突いたら、どうであるか。」と。その人は答えることができなかったのである。

〔矛盾「韓非子」より〕

Table with columns for 実施日, 得点, and 解説. Includes a small grid for answers.

- (1) 線 a, b, c の意味を現代語で書きなさい。
(2) 線①「之」が指しているものを上の原文中から探し、書き抜きなさい。
(3) 線②「吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり」とありますが、これについて次の問いに答えなさい。

- (4) この意味として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
(5) 「莫」の字と同じ意味の漢字を一字、上の原文中から探し、書き抜きなさい。
(6) 「矛盾」のように、昔の中国の有名な話から生まれた言葉を何と言いますか。漢字四字で書きなさい。

Table with columns (1) through (6) and rows a, b, c for answer selection.

(6) 10点、他5点×3

日本語探検4 語の意味と文脈・多義語 文法の窓3 単語の分類

◆ 次の各文の——線の言葉が表す意味をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 日曜日は銀行がやっていない。
(2) 町の銀行がお祭りの出し物を競う。
(3) 銀行は駅のすぐ前です。
ア 銀行の建物や敷地 イ 銀行に属している人 ウ 銀行の窓口業務

Table with columns (1), (2), (3) for answer selection.

- (2) 線の言葉の使い方が同じものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。
(1) 妹が怒って口をきいてくれない。
(2) 彼が手を貸してくれた。
(3) 通学の足に自転車を使う。
ア 兄はとても足が速い。 イ 父は足が大きい。 ウ バスが終わって帰りの足がない。

Table with columns (1), (2), (3) for answer selection.

- (3) 次の文の——線の単語の品詞名を書きなさい。
(1) 少しずつ空が明るくなってきた。
(2) あらゆる資料を持ってきてください。
(3) もっと静かな所だとよかったのに。
(4) もっとはっきりしゃべってください。

Table with columns (1), (2), (3), (4) for answer selection.

- (2) 次の文の——線の品詞名を書きなさい。
(1) 私たちの町には、有名なお祭りがある。
(2) 友達とお祭りに出かけたある目のこと。
(3) その人は、小さな犬を連れていた。
(4) バジヤマが小さくなってしまった。
(5) じっくり問題に取り組んでみよう。
(6) 真面目な姿勢で勉強に取り組む。

Table with columns (1) through (6) and rows (1) through (3) for answer selection.

Table with columns for 実施日, 得点, and 解説. Includes a small grid for answers.

少年の日の思い出 (1)

次の文の空欄に当てはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

「少年の日の思い出」は、少年の(1)を描いた物語である。作者の(2)はドイツ出身の詩人・小説家である。訳者の高橋健二は東京都出身の(3)である。この作品は、大人になった私と客との会話から、客の少年時代の回想へ移っていく。回想から現実に戻ることはなく少年時代のままで物語が終わるため、少年の日の思い出が読み手に印象深く残る。

- ア 小説家 イ ドイツ文学者 ウ オー・ヘンリー
エ 心の成長 オ ヘルマン・ヘッセ カ 純粋な心

Answer grid for question 32 with columns (1), (2), (3).

次のア〜カの各文のうち、線の語句の使い方が正しいものを四つ選びなさい。(3点×4=12点)

ア ダンスに打ち込む彼女の熱情は、見る人の心を感動させる。
イ ゲームのとりこになった彼は、毎日一時間だけゲームをする。
ウ カギの置き場所をすっぱかしてしまい、見つけれない。
エ 世界的に有名な絵画にお日にかかれてとてもうれしい。
オ この作品はすみずみまで丁寧に作られていて、非の打ちどころがない。
カ そり立つ壁に恐れをなして、登ることをあきらめてしまった。

Answer grid for question 32 with columns (1), (2), (3).

次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。(4点×8=32点)

- (1) 不愉快な気分になる。
(2) 微笑を浮かべる。
(3) 金メダル獲得に歡喜する。
(4) 喉笛に痛みが走る。
(5) キンチョウがほぐれる。
(6) 楯を飛びこえる。
(7) ズボンのすそをツクロウ。
(8) 規則違反のバツを受ける。

Answer grid for question 32 with columns (1) through (8).

Score and subject information for question 32: 教科書 P.154 P.168, 50 points, 15 minutes.

少年の日の思い出 (2)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「子供ができてから、自分の幼年時代のいろいろの習慣や楽しみごとがまたよみがえってきたよ。それどころか、一年前から、僕はまた、チョウを集めをやってるよ。お目にかげようか。」と私は言った。彼が見せてほしいと言ったので、私は取集の入っている軽い厚紙の箱を取りに行った。最初の箱を開けてみて初めて、もうすっかり暗くなっているのに気づき、私はランプを取ってマッチを擦った。すると、たちまち外の景色は闇に沈んでしまい、窓はすっかり不透明な青い夜色に閉ざされてしまった。私のチョウは、明るい形や濃いみことな色を眺め、チョウの名前を言った。「これはワモンキタバで、ラテン名はフルミネア。ここではごく珍しいやつだ。」と私は言った。友人は一つのチョウを、ピンで付いたまま、箱の中から用心深く取り出し、羽の裏側を見た。「妙なものだ。チョウを見るくらい、幼年時代の思い出を強くそられるものはない。僕は小さい少年の頃熱情的な取集家だったものだ。」と彼は言った。そしてチョウをまた元の場所に刺し、箱の蓋を閉じて、「もう、けっこう。」と言った。その思い出が不愉快でもあるかのように、彼は口早にそう言った。その直後、私が箱をしまつて戻ってくる、彼は微笑して、巻きたばこを私に求めた。「悪く思わないでくれたまえ。」と、それから彼は言った。「君の取集をよく見なかつたけれど、僕も子供るとき、無論、取集していたのだが、残念ながら、自分でその思い出を汚してしまつた。実際話すのも恥ずかしいことだが、ひとつ聞いてもらおう。」

(ヘルマン・ヘッセ 高橋健二訳「少年の日の思い出」より)

- (1) 線①「窓は……しまった」理由として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア カーテンを閉めたから。
イ 窓に色を塗ったから。
ウ ランプの光で部屋が明るくなったから。
エ 天気が悪くなったから。
(2) 線②「もう、けっこう」と聞いて、「私」はどう感じましたか。文章中の言葉を使って答えなさい。
(3) 線③「君の取集」とはどのようなものですか。その様子が書かれている一文を文章中から探し、初めの六字を書き抜きなさい。
(4) 線④「恥ずかしいこと」とありますが、恥ずかしさをやわらげるために友人がとった行動が分かる一文を文章中から探し、初めの六字を書き抜きなさい。
(5) 「私」と友人にとってチョウの取集はどのようなものですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 二人の友情のあかし。
イ 幼年時代の思い出の象徴。
ウ 子供じみた、恥ずかしい趣味。
エ 不愉快でも、避けられない運命。

Answer grid for question 33 with columns (1) through (5).

Score and subject information for question 33: 教科書 P.154 P.168, 50 points, 15 minutes.

演習問題

実施日 / / 得点 / /

50点度 ☆☆☆

50点理 ☆☆☆

教科書 P.154 P.168

◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あるとき、僕は、僕らのところでは珍しい青いコムラサキを捕らえた。それを展翅し、乾いたときに、得意のあまり、せめて隣の子供にだけは見せよう、という気になった。それは、中庭の向こうに住んでいる先生の息子だった。この少年は、非の打ちどころがないという悪徳を持っていて、それは子供としては二倍も気味悪い性質だった。彼の収集は小さく貧弱だったが、小さいながらも、手入れの正確な点で一つの宝石のようなものになっていた。彼は、傷んだり壊れたりしたチョウの羽を、にかわで繕い合わせるといって、非常に珍しい技術を心得ていた。とにかく、あらゆる点で、模範少年だった。そのため、僕は妬み、羨望しながら彼を憎んでいた。

この少年にコムラサキを見せた。彼は専門家らしくそれを鑑定し、その珍しいことを認め、二十ペニヒぐらいの現金の値打ちはある、と値踏みした。しかしそれから、彼は離れ去り、展翅の仕方が悪いとか、右の触角が曲がっているとか、左の触角が伸びているとか言い、足が二本欠けているという、もつともな欠陥を發見した。僕はその欠点をたいしたもとは考えなかったが、こつびどい批評家のため、自分の獲物に対する喜びはかなり傷つけられた。それで僕は二度と彼に獲物を見せなかった。

(ヘルマン・ヘッセ 高橋徳二訳「少年の日の思い出」より)

- 線①「せめて隣の子供にだけは見せよう」と思った理由を、文章中の言葉を使って答えなさい。
- 線②「悪徳」について、「非の打ちどころがない」ことを、「悪徳」と表現している理由を説明した次の文の「」に当てはまる言葉を文章中から探し、書き抜きなさい。
- 線③「彼」を言い表したものとして適切でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア 模範的な少年
 - イ 気味の悪い性質の子供
 - ウ 昆虫の研究者
 - エ こつびどい批評家
- 文章中の二つの「」に共通して当てはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア それなのに
 - イ そのうえ
 - ウ それでも
 - エ そのかわり
- 線④「僕は二度と彼に獲物を見せなかった」とありますが、その理由として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア 獲物にさんざん難癖をつけて、安い値段をつけようとするから。
 - イ 貧弱な収集しか持っていない彼に、獲物を自慢しては悪いと思ったから。
 - ウ 手厳しいことを言われて、獲物を捕らえた喜びを傷つけられたから。
 - エ 彼があらゆる点で模範少年であることを妬んでいたから。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

(1)14点、他9点×4

演習問題

実施日 / / 得点 / /

50点度 ☆☆☆

50点理 ☆☆☆

教科書 P.154 P.168

◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「僕はクジャクヤママユを見るために、エーミールの留守中に彼の部屋へ入った。」

あいにくあの有名な斑点だけは見られなかった。細長い紙切れの下になっていたのだ。胸をどきどきさせながら、僕は紙切れを取りのけたという誘惑に負けて、留め針を抜いた。すると、四つのおおきな不思議な斑点が、挿絵のよりはずっと美しく、ずっとすばらしく、僕を見つめた。それを見ると、この宝を手に入れたいという逆らいがたい欲望を感じて、僕は生まれて初めて盗みをした。僕はピンをそと引つ張った。チョウはもう乾いていたので、形は崩れなかった。僕はそれを手のひらに載せて、エーミールの部屋から持ち出した。そのときさしずめ僕は、大きな満足感のほか何も感じていなかった。

チョウを右手に隠して、僕は階段を下りた。そのときだ。下の方から誰か僕の方に上がってくるのが聞こえた。その瞬間に僕の良心は目覚めた。僕は突然、自分には盗みをした、下劣なやつだということに悟った。同時に見つかりはしないか、という恐ろしい不安に襲われて、僕は本能的に、獲物を隠して、大それた恥ずべきことをした。冷たい気持ちに震えていた。上がってきたお手伝いさんと、びくびくしながら擦れ違つてから、僕は胸をどきどきさせ、額に汗をかき、落ち着きを失い、自分自身におびえながら、家の入り口に立ち止まった。

(ヘルマン・ヘッセ 高橋徳二訳「少年の日の思い出」より)

- 線①「紙切れを取りのけた」とありますが、「僕」はなぜそう思ったのですか。文章中の言葉を使って答えなさい。
- 線②「僕を見つめた」とありますが、これはどのような様子を表現していますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア 僕が我を忘れて見つめている様子。
 - イ 僕を身動きできないようにさせる様子。
 - ウ 斑点が絵に描いたもののように見える様子。
 - エ 斑点が見え隠れする様子。
- 線③「大きな満足感」とありますが、何に対する満足感ですか。文章中の言葉を使って答えなさい。
- 線④「盗み」とは、僕にとってどんなことでしたか。文章中から探し、十字で書き抜きなさい。
- 線⑤「恐ろしい不安に襲われて」とありますが、このときの「僕」の様子が具体的に書かれている一文を探し、初めの五字を書き抜きなさい。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

(1)・(3)12点×2、(4)10点、(2)・(5)8点×2

実演日	／	／	／
時間	／	／	／
50点	／	／	／
50点	／	／	／
50点	／	／	／
50点	／	／	／
50点	／	／	／

⑪ 次の各文の——線の名詞の種類をあとから一つずつ選び、記号を書きなさい。(2点×5＝10点)

- (1) その島の人口は三百人ほどです。
- (2) あんなことできるはずがないと思っていた。
- (3) 明日そちらにうかがいます。
- (4) 私の実家は青森にあります。
- (5) 優勝できたとは夢のようだ。

ア 普通名詞	イ 固有名詞	ウ 数詞	エ 代名詞	オ 形式名詞
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

⑫ 次の各文から名詞を書き抜き、名詞の種類を含えなさい。(2点×8＝16点)

- (1) では紅茶をいただきます。
- (2) どこまで行ってきたのだい。
- (3) 始めようと思っていたところですが。
- (4) もう十年もたったのか。

(4)	(3)	(2)	(1)
名詞	名詞	名詞	名詞
種類	種類	種類	種類

⑬ 次の用言から名詞を作り、書きなさい。(4点×3＝12点)

- (1) 重い
- (2) 帰る
- (3) さわやかな

(1)
(2)
(3)

⑭ 次の——線のカタカナを漢字に直して書きなさい。(3点×4＝12点)

- (1) コフンの発掘。
- (2) 人間はホニユウ類だ。
- (3) なすのシユウカク。
- (4) ヤヨイ時代の土器。

(3)	(1)
(4)	(2)